



郷里の雨錫寺の境内に起つ 施主：碩峯

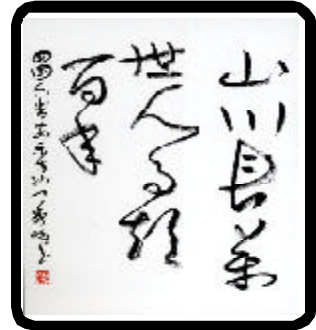
岩屋山 観音たより

発行所：和歌山県
海草郡下津町橋本一〇六五
福勝寺内
電話：(073)4941031
編集人：本多碩峯

清き水導き給へ観世音 高野の峯を清め給う

碩峯作

日本人の宗教観の原点
日本人の宗教意識の原点は神・仏
観も自然観は西洋とは根本的に異質
なものであります。日本人の宗教観
の原点では神も仏も人間も、そして
自然も一体であるという事です。
神と人間と自然が厳しく区別され
るキリスト教的西洋とはものごとの
発想の原点が異なることでもあります
人間を中心にこの点を考えて見ま
しょう。
キリスト教の神は唯一の神であり
人間の創造者であり、人間を裁く存
在であります。仏は唯一の存在で
もなく、人間を裁く存在でもない
人が成る存在であります。そして



山川国土の寿命は長いが
人の命は短く百年なり

真理の花たば

山川は長くして方世なり
人事は短くして百年なり

弘法大師講本部・四国六番安楽寺
住職・畠田秀峰師書

明日の装いを提案します!

寝装・和装・洋装・総合繊維卸

株式会社 **マスメン**

代表取締役 増田都司夫

本社

〒640-8376 和歌山市新中通 2 丁目 8

TEL (073)424-4466(代表) FAX (073)436-6508

<http://www.nnc.or.jp/~sekiho/>

豊かなまちづくりに参加しま す!

株式会社 **田淵建築設計事務所**

代表取締役木田耕蔵

本社

〒640-8287 和歌山市築港 4 丁目2-1

TEL(073)431-0261(代表) FAX(073)431-3898

E-mail sekiho@nnc.or.jp

どの仏を信じ、どの仏に指導を仰いで修行するかはそれぞれ異なる。従って仏教徒にとって真理は一つでない。価値観も唯一のものでなく多様であります。

例えば駅前などでその人達の信じる宗教以外は邪教であると強引に勧誘されることなど日本人は拒絶感と嫌悪感をもってしまふ。

仏教には「一切衆生悉有仏性」という言葉があります。いかなる人間にも仏になり得る本性があるとい

うのでありませぬ。いや人間だけではありません。草木国土悉皆成仏といわれています。自然の生物さえ成仏するのであります。

成仏とは死ぬことでありませぬ。正しい信仰と修行によって煩惱を滅し、正しい知恵を得て仏になるのです。だから仏教では仏の数は多い。成仏した先輩の続いて後輩も仏にならなければならぬ。仏と人間は連続しているのであります。

明治維新において数百年の間、神仏混淆と本地垂迹などと称して神に仏を合祀し、その中にはすくた文化財も数多くあったが政府の命令(廃仏毀釈)により打ち毀すことまでして仏教を排斥したことは私達が誇りにする明治維新の中で唯一

(少なくとも最大)といつてよい痛恨事でありませぬ。

仏教の力をどんなに損じたことが、それまでの日本の産業界には精神的支柱の一つが仏教で、そこに独特の日本資本主義が育まれていた。

神・儒・仏の一体

士農工商階級制度の中で最上位である士(武士)学であり幕府御用の学は儒教であり商人の実力が向上するに従い商人を支える哲学も石田梅巖の心学は仏教のみならず神道儒教をも取り入れたものであります。そして幕末近く荒廃する農村の立て直しに立ち上がった二ノ宮尊徳(金次郎)の報徳運動は神儒仏一体ということを強調しました。

外交問題

中国大陸の指導力は漢にせよ唐・明にせよ大帝国でありましたから、聖徳太子が隋と対等たるべく苦心されたエピソードの如く、この大帝国といかなる姿勢で付き合つかは、アジア諸国民にとり終始変わらぬ重要な国策であったに違いない。

現在大國であります中国或いは米國にいかにか接するかの国策にかなりの混乱があるのではないだろうか

阿部仲麻呂(六九八～七七〇)

『天皇二年(六九八年)中務大輔・阿部船守の長男として大和の國に生まれ、幼少より秀才の誉れ高く、若千十九歳で第八次遣唐使團(一行総勢五五七人。

下道真備や僧玄らが同乗る。南まわり航路)の一員として開元五年(七一七)長安に到達する。入唐後、大學(文部官五品以上の子弟の最高級の教育機関)で学び、日本人でありながら超難関の科擧の進士科の試験にも合格を果たしてしまふ。そして唐の高等官として、七二七年洛陽の司經局の校書(典籍を扱う役職、正九品下)への任官から、七二八年長安で左補闕(従七品上)さらに秘書監(従三品、国立図書館長)とより高い地位にと昇進していく。日本人でありながら超難関の科擧に合格し、皇帝・玄宗(唐の六代目皇帝。六八五年～七六二年、在位七十二年)の厚い信任を得ながら大帝国での高い地位に引き上げられるというのは、個人としての能力と魅力が計り知れないものであったことだろう。国や組織の威を借りるわけではなく、躍した小國(当時)の日本人がいたという事は素晴らしいし、また個人の才能で異國人でも抜擢する当時の唐の懐の広さや長安の国際都市ぶりに注目し値する。

わが國の神仏

日本古来の神道においては人間は本来清明であると考えられ例えば澄んだ水溜りに足を突っ込んでその水が濁ってもじっと待っていればやが再びその水は澄んでくるように人間は一時に汚れていてもやが清明に戻ることが出来ると考えられている。

だから死直接の荒魂(あらいま)もやがては祖靈となり神靈となつていく考えられている。この考え方は仏教において煩惱の水が溶ければやが清らかな泉のような心になり罪は消えると考えられている。免方に通じている。年の内につくる罪はかきくらしふ白雪と共に消えなむ」と詠われているように暗黙のうちに入閻や人間を浄化する自然への信頼感がある。神と人間は非連続。自然は人間が克服し超越すべきものだとするキリスト教的な欧米発想とは根本的に違ふこととなる。

阿部仲麻呂の中國で詠った望郷の和歌。

天の原ふりさけ見れば春日なる

三笠の山に出でし月かも

大陸の土となった話は、日本人の命がけの独立への悲願であった考えられる。第二次大戦の日本軍ドイツ軍による強制労働状況してや二度の北朝鮮による善良な市民(子供や青年男女を平和時に拉致)によって異國の地に連れ去るという事件とは比べようもありません。

その根底においてつながらり構っていません。だから西洋人には考えられない神仏

習合のようなことがおこるので、
いうことは極言すればたとえ仏を崇
拝していようと同時に神を崇拝する
ことに成り、神を崇拝しているこ
とが神仏を敬うことにもなり、自然
を崇拝し感謝することが神仏を敬う
ことにもなる。従って神と仏の両方
を崇拝するから不純でありルーズで
あると考えるべきでなく、自然にそ
のようにさせるのが日本人の宗教観
の原点だと思えます。

神と仏

世界的と云って良い程今日大変な
経済不況の中でそれに伴い企業経営の
みならず社会問題の難題が続出し
ます。

物質賛美を反省して「心の世界」精
神世界の重要性を叫ばれて来ました
が一向に心や精神性が豊かになっ
とは思えないむしろ不況が深刻化
するに従い、物や金銭への渴望が復活
している感すらする。鈴木大拙博士
(1870-1966)(明治三・昭和四十一年、二
十二歳)東京 東京専門学校から東京帝国大
学選科に進んだ学生時代、鎌倉円覚寺の今
北洪川(こうせん)・釈宗演(しやくそうえ
ん)に参禅。大拙の道号を受けた。

一八九七年渡米、イリノイ州の出版社「イ
ブニング」に入り、哲学者「ルケーラ
ス」を助けて東洋学関係の出版に従事する。か
つ「老子道德経」を英訳し、「大乗仏教概論」を英訳し、
一九〇九年帰国。東京帝国大哲学習院で

教壇とつたが二十一年大谷大学教授で京都
に移ったやが東方仏教徒協会設立、英文雜
誌「イースタンディスタ」を創刊して「仏教
禅思想を広く世界に紹介した」

四九年文化勲章受賞英文、邦文による著書、論
文はおびただし数にのぼるがそれらは鈴木大
拙全集(三十巻別巻)におさめられている

は現在を予言したが如く、いや真理
である。大拙博士は、物質と相対した心
や精神しか知らないからである。心の
底の底・靈性、魂の叫びを忘れてしまっ
ているからである。欲望にしばられた
普通のこころしか問題にされないから
である。だから宗教といわれる欲望を
満たす擬似宗教ばかりが多く出現し、
本當の宗教に気づけなくなってしまう
ているのだ。自分の心の底の底から起
こってくる声、魂の叫びに気づかず、物
質と相対する次元で精神や心を満足さ
せ、またそれを目的として宗教を見よ
うとするから心はいよいよ浅くなり、
宗教ブームがおこるうとも真の宗教が
見えず、さらに伝統宗教においても真
の伝統に気づかず、魂を失っているの
だ。と明言されている。

別の角度からこれを見れば、経済
や科学の発展に目を奪われ、我が内な
る魂の叫びが聞こえなくなってしまう
ているのではないか。私たちは存在全
体を経済発展の方向にのみ向いてし
まっています。自分の魂の問題につ
いて非常に関心が薄くなっている。

河合隼雄氏は通常の意識を破った魂
を重要視し、「われわれ近代人は意識
を洗礼して自然科学を造っていった。
けれども昔の人はそうじゃなくって、
通常の意識を破ってそこから出てきた
知恵を書いている……だから

今、自分とは何か、というようなこ
とを考えると、通常の意識で考えら
れたことがつまらなく、それを通り越
したところで書かれた昔の宗教の本
が、我々にとつて非常に大きな意味を
持つ」と指摘している。

今こそ心を突き破って魂の声を聞く
べきである
私が主張したいことは先ず、日本伝

熊野本宮新宮・那智の三山熊野修験の成立(平安中期概要)

熊野には三山が成立する以前奈良時代から山林修験行者が訪れていた
その主なものとして、まず宝龜三年(772)に十禅師に選ばれた永
興が摂津国の百済系氏族に生まれ興福寺に入り後、熊野に移り住み修
行すると共に海辺の人々を教え導き、人々から南菩薩と崇められた。
『日本靈異記』(にほんりょういき)「病人を彼が祈祷した話し、彼の
ところをを訪れた法華持經(ほうつつけいじや)が、熊野川上流で岩か
ら身を投じて捨身し、骸骨になりながらも法華経を唱えていた話し、
牟婁郡出身の私度僧牟婁沙弥が身を清め、六ヶ月かけて法華経を書写
した話し。

上皇御幸：

天仁二年(1102)の藤原宗忠の熊野詣などでは、本宮・新宮に合
わせて那智を詣で、このころから三山をまわる事が慣例化する。そ
の前に延喜七年(907)に宇多上皇が上皇として初めて参詣した。

統的な宗教性に一人一人が自覚め
しつかりと再認識すること、そして
日本人の包容力のある宗教意識の上
に立ち、同時に一人一人が自己の内
面の声、魂の声を聞くことによつて
その魂に感応する心の宗教を求め、
選択すべき時であると考ええる。
このようなことが自覚された時、嘗
利や権力のみを追う擬似宗教や伝統
仏教の名を借りて宗教家と自認する
ものが自然に姿を消し、真実の生を
生かす指針となる宗教がわれわれ日
本人を導くことになる。

終わり。

また、正暦三年(992)には花山法皇が滝に籠もっているその後、寛治四年(1090)白河上皇が園城寺(おんじょうじ)の増誉(ぞうよ)を先達として熊野御幸して以来、歴代の上皇熊野御幸がなされるようになった。

この時、白河上皇は増誉を熊の三山検校(けんぎょう)に補任(ぶにん)した。

これによってそれまでの地方の霊山に過ぎなかった熊の三山は中央の僧綱(そうごう)制につながるることになった。

白河上皇十回にわたつ熊野詣をしたがその後をついだ鳥羽上皇は二十一回、崇徳上皇

一度後白河上皇三十五度後鳥羽上皇は二十八度土御門つちみかど)上皇二度後骨嵯峨上皇三度

亀山上皇一度上皇の熊野御承統き、貴族たちもこれ供奉(くぶ)したり、独自在熊野詣を行った。

補陀落浄土・

時代が下がつて十一世紀中懐なる

『本朝法華験記(ほんちようほつつけんき)』には、法華持経者吉叡(いちえい)が熊野参詣の途中完背山(かのせ)やま・有田と日高郡の境)で、比叡山東塔の住僧円善が弥勒の引摺をえるために法華経六万部の誦誦を発願し、死後も骸骨になつても唱え続けているのに遭遇した話し。

『引接・引摺』いんじょうーぜふ(仏) 仏が衆生(しゆじよう)を救いとして極楽へ導くこと。浄土教では、臨終に際して仏が現れ、死者を浄土に導くこと。いんせつ。釈迦のーを蒙れる故に現身に替りたり・今昔三

那智山の住僧応照が法華経葉王品の喜見菩薩の焼身(しょうみん)の故事にならつて火定(かじよう)した話し。この他、観音の補陀落浄土での往生を願つて、補陀落山寺での往生を願つて、補陀落山寺の浜から死出の船出する渡海入定がなされている。

『熊野年代記』によると、補陀落渡海は、貞観十年(868)十一月三日の慶龍上人をはじめとして、延喜十九年(919)一月の補陀落山寺の祐真上人、天承元年(1131)十一月の高叡と続いている。藤原頼長の『台記』や『吾妻鏡』にも密閉された真暗な屋形に入り、三十日分の食料と油を積んで、補陀落めだして那智の浜を船出した話が書かれている。

この補陀落渡海は『日本書紀』に少彦名命(すくなひこのみこと)が熊野の御崎から常世に渡つたとの神話とのつながりが感じられる深い興味がある。

花山法皇は寛和二年(986)六月花山寺で出家し、播磨の書写山、比叡山などの諸山で修行後、正暦三年(992)頃那智山に入り、大滝の上で数ヶ月の籠山修行を行った。

熊野御幸・

歴史的概要について上記に述べましたが、熊野御幸を物語る記録の中で、詳しく記述されているものに建仁元年(1201)後鳥羽上皇の熊野御幸に供奉した歌人、藤原定家の『後鳥羽院熊野御幸記』がある。

鳥羽の草津(木津、今津)から御幸の一行を乗せた屋形船は、桂川から一路、淀川をくだり、やがて淀川尻の渡辺の浜、窪津に着いた。現在の大阪天満橋の西方、江戸時代は洛南伏見まで淀川を上下した三十石船が発着した川港、八軒屋の浜である。中世、熊野街道の発端となる地から熊野三山へと遍路旅路となる。熊野街道の起点、熊野九十九王子の第一王子、窪津王子に参拝する。

ご先祖様への感謝を
私たちの子孫へ

墓石・建立石材販売 & お墓のご相談は

阪神石材株式会社

代表取締役 立本秀典

本社 尼崎市建家町30

TEL (06) 6412-3921

立花栄行所 TEL (06) 6418-1414



皆さんのスーパー

株式会社 みち屋

代表取締役 道畑 勇

本部 和歌山市岩橋729番地の6

TEL (073) 473-4197

松島店 和歌山市加納246番地の1

TEL (073) 474-3500

貴志川店 那賀郡貴志川町大字北山517番地

TEL (0736) 64-7020

(5)

王子・

王子というのは、もともとが貴子信仰から発したもので、仏語でいう童子つまり熊野権現の眷属けんぞく。末社の意味であり、王子には熊野三山がお祭りされている。

九十九王子といっても実際、九十九あるのではない。単に数が多いという形容したものである。

これら熊野街道に点々する王子社は、熊野御幸の上皇や女院、隋従する貴族たちの遥拝所や休息、宿泊所にあてられその社前では経供養や、御神楽、御歌会などがも催された。

また、王子の近隣の熊野詣に行けない人々が熊野三山に肖って参拝したところ、従って元々近隣の人々が道祖神があつたところなどが王子として祀られた。

【障の神・塞の神・道祖神 さえのかみ さへ悪霊の侵入を防ぐため村境・峠・辻などにまつられる神。旅の安全を守る神。また、生殖の神、縁結びの神ともする。さいのかみ。とうそじん。】

人類が歩む道は路の連続であり、**真の实在への歩みが道である。**

辺路・

辺路といえ田辺の中辺路があります。熊野街道自体が辺路の連続であります。

辺路といえ田辺の中辺路ありますが熊野街道自体辺路の連続であります。

王子そのものの歴史的な文化遺産があります。実は辺路の連続の古道がより文化的に重要な遺産であるという事を改めて認識する必要があります。

熊野三山一ノ宮といわれる藤白(代)王子(現・藤白神社)は現在熊野街道にある王子跡のうちで最も大きいもので、当時も、熊野九十九王子のなかでは、切目王子、滝尻王子、近露王子等と共に別格の“五体王子”として崇敬され、格式も高かった。

その意味でも、藤白王子(現・藤白神社)の社は熊野三山一ノ鳥居のある地で、云つてみれば此処が聖地熊野への門にあたる。

が、中世の上皇、貴族、庶民のこころある人々が肉体的に精神的にも想像を絶する熊野三山信仰へ走らせたものは何であつたのだろうか。

一(藤白峠の塔下王子を参拝して現在の御所の芝から眺める光景は京の都で生誕され話に聞くも生まれて初めてみる広大無辺な太平洋、和歌の浦、遠くには淡路島、眼下には名草山、日

方の浦この光景を観て苦しかった道中を一瞬にして忘れさせ、感動と明日への新たな希望を与え、辺路を一路熊野へと心を向ける。

福勝寺へ

二(岩屋山 福勝寺へ足を入れる、此処は大峰山の役の行者(役小角・えんのおづね)とは非常に深い縁がある。

【役小角】えんのおづね七、八世紀に大和の葛城山にもつて修行した呪術者。

その昔、七世紀末の大和国の葛城山中に役小角(えんのおづね)という謎の人物が棲んでいた。その役小角が算面の滝で修行中に「熊野へ行け」という啓示を受け、熊野へ初めて足を踏み入れ、当に辺路を歩むことになり、その歩みが役小角の人生即ちわれわれ人間の人生、そのものである。(役小角・弘法大師空海との当福勝寺との縁起については二十号・二十三号・二十四号に記載しております。ご参照下さい)

路と道

世界遺産登録の手続きの第一段階として、各国は、登録の推薦を予定する資産を記載した「世界遺産暫定リスト」をユネスコに提出しなければなりません。

この度、世界遺産登録に高野・熊野街道「紀伊山地の霊場と参詣道」(和歌山県、三重県、奈良県)が平成十三年に世界遺産として登録されています。

道とはマクロ的に A 点から B 点に至る「みち」をいい。日本の伝統文化の茶道や華道、書道、や柔道などの武道等、その技術を通して人間して極める人の「みち」を道という。

真言宗 岩屋山 **福勝寺**

初午祭

復活

柴燈大護摩供養



資料写真

日時：

平成十五年三月十日

十三時(修法(本堂))

十四時三十分(紫燈護摩供養)

十六時(大餅投)

インターネットライブ中継

午後二時より紫燈護摩供養風景を中継の予定、乞うご期待

祈願受付中!

初午祭実行委員会

実行委員長 土井康生

これに対して路とは獣の路、人間にとつては時には遠い路であつたり或いは人生の遊びの路であり、決して無駄でない有益な路でもある。一口で語りつくせない人生の路を歩んだ先人が平安時代の御皇上、役小角であり弘法大師空海であります。鎌倉時代に入つては一遍上人、芭蕉等と続きます。

近年では当地本宮出身の山本玄峰師「貧しい家庭に生まれ赤ん坊の時に見舞われ、家出、四国八十八ヶ所を数回週した処で高知の雪深寺山門で行き倒れ、住職に助けられ、終戦時には妙心寺派官長になられた人」自ら人の道を究め、われらの先達として、衆生に哲学的、宗教的な「道」をお示し頂いているのが熊野古道でもあります。

聖護院と三寶院

天台宗の聖護院と真言宗の三寶院の夫々の門跡(僧侶)が役小角が歩んだ辺路の行場を平安時代から今日まで、人生の平安の「道」を延々と歩んでいるのであります。

当福勝寺には年に一度、聖護院門跡は熊野から大峰山の山上ヶ嶽への順打ちの途中昼食休憩三寶院門跡

は吉野から山上ヶ嶽、前鬼から本宮、那智そして当寺で一泊、逆打ちの工程であつた。空海、創建以来の一千年に近い**柴燈大護摩供養**が行われてきましたが戦後残念にも途絶えてしまいました。

当寺関係者の**柴燈大護摩供養**の復活にかける夢は悲願であつた。本年三月十日の旧初午筈に執り行われることになりました。総本山聖護院門跡近畿連合会、教務部長、山下敏英師の一門によつて執行されます。

紀伊半島の海岸線、山々は古事記に記載された数々の伝説、役小角えんのおずね弘法大師空海をはじめとする遺跡、そして辺路の質量共に他に類を見ない。

南方熊楠に学ぶ

一般には植物学者と有名ですが、実は彼は空海密教の絶大な信奉者であつた。空海密教の真理『五大要素 宇宙の空間で地・水・火・風・空が実存する唯一の地球にのみ一切の生物が育み、球形の地球のどの地点をとつても同じ環境がありませぬ。その異なつた環境に叶つた生物が存在するということ、即ち環境に即した異なる個性を持つた生物が存在していることです。

このような大宇宙の壮大そのものに個性ある生物にどんな小さなモノにも不思議な現象がある個性を持たない不思議なモノや現象をわれわれ日本人は儒教の到来と共に日本人の地域社会の平安と道徳的指針の恩恵に敬う対象が神であり、個性を持った

一切の生物即ち『山川草木悉皆成仏』本来実在の仏とが習合(神と仏が依存しあう考え)思想が奈良時代からはじまり弘法大師空海・最澄の時代に民衆にいつそうひろまり、神社に神宮寺を建てたり、寺院に鎮守神を祀ることが広まつた。

熊楠は郷里の紀伊田辺の雨量が多い原生林で太陽の光が届かない土壌にも、その場所の環境に適合した生物があるとの考えから発見した粘菌とは真に驚くべき素晴らしい生物であつた。それは太陽を見ない多湿度の環境に育み、酸素を吸つて炭酸ガスを排出しその環境に育む、他の原生林の植物の成長に欠かせない生あるモノを排出し、粘菌が時間とともに太陽を求めアミーバーのように成長しながら木を登り太陽光に触れると炭酸ガスを吸つて酸素を排出する。実にすばらしい生物ではないか。

熊楠が後世自然環境保全や、明治初頭廃仏毀釈から立ち直つた日本仏教界に国際的な精神文化の紹介を担う契機として海外にいる熊楠の薦めでもあり、日本から土宜法竜(真言宗高野山派)・釈宗演(臨済宗円覚寺派管長)・芦津実全(天台宗)・八淵蟠竜(浄土真宗本願寺派)の四人の僧侶が仏教界を代表して参加した。

次号へ



有限会社 **ミヤタケ**
代表取締役 **宮下隆博**

〒640-8329
和歌山市田中町4-119
TEL(073)422-2327 FAX(073)436-5598



人に優しい音声発生装置!

有限会社 **日本メディテックス**
代表取締役 **山口昭昌**

〒641-0054
和歌山市塩屋5丁目5番43号
TEL(073)446-2009 FAX(073)446-3696

私のインターネットネット情報

ネット中継ライブ期待

この度、自宅サーバーを立ち上げ、動画もインターネットで配信出来るようになりました。来る三月十日午後二時半より当寺福勝寺の初午祭に復活なる**柴燈大護摩供養**をインターネットネットライブ中継を配信すべく実験に成功しました。これには日頃の友人たち「Ktsst、H3xazt」の協力を得た結果です。私たちのグループは因みに六十歳を超えるシルバーの皆さんです。**メッセンジャール**に興味を失くす愛すべき夫を亡くしながら、北海道で十五町歩の農場を一人で大型農機具を操り、趣味を生かす清子さん



清子さんの手作りの一品
現在使用中のパソコンも自作品

ロシア人の娘さんと恋愛中

前号で紹介しました日本の某大手企業ロンドン支店長の都築恭雄さん(JA3PIN/MOBLD)がサンクトペテルブルグ市に住む可愛い娘(ヴィオラ)さんとの



2003年お正月ロンドンの都築さんを訪ね、ゆっくりされた時の写真

恋が芽生えゴールインが間近とか。彼女はモスクワ大学のの日本語科を卒業された方です。非常にきれいな日本語をお話されます。インターネットが取り持つ縁です。私たちが仲間は、お二人に是非インターネット中継ライブの式典をそして披露宴もと楽しみにしております。また、結婚式を日本の神道式が仏教式かキリスト教式か、或いはロシアの伝統の式典か？と話し合っているのです。

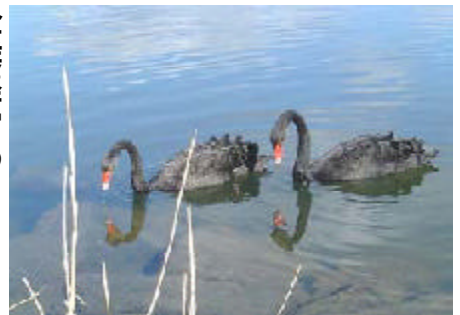
脳梗塞による後遺症から立ち上がる！

いわ帝に住む六十四歳川田輝雄さん十年前五十四歳病に倒れ、半身不随後遺症悩む毎日の中、自然界の生物の素晴らしさに気づき、観察する光景を写真に写すことが甲斐となりインターネットのビットアリーで写真を通して大勢の方と交流を深める毎日を晩生給る。

企業経営の

インターネットへの参加

従来は営業や人材募集など対外的な参加でありましたが、今日はリストラで社員が減り、不況の中に社員の一人あたりの負担が大きくなっている。収益性も悪化し改善の兆しが見えない状態が続く。行きよい会議が多くなりメンバーが揃う時間が遅く、サービス残業となつて社員の心身の健康維持に問題をもたらす結果となる。そこへ中小企業を考えた。自宅インターネットメッセンジャを利用する。一、出張(国内外にはパソコンを使い、メッセンジャ機能を使う。(短期を除く)



川田さんの作品から

一、出張先で顧客との打ち合わせにメッセンジャを使う。
長所：
一、完全に近いペーパーレス
一、画像・図面・参考図が自宅のパソコンから取り出せる。
一、デジカメの資料を配信出来る。
一、必要に応じて、出張者以外の社員が音声で参加出来る。
一、電話と異なり全く音質と共に明瞭です。
一、参加者にはパスワードを発行する事で秘密性を高める。
一、必要に応じて、動画を実況配信できる。等々。次回に続く

自然と共生

やっぱり有機です！

- 有機化成：グアノ化成、サンミクロ化成、そだち化成
- 有機液肥：サンミクロ液肥、トップグリーン、バイオトップ
- 胚芽肥料：胚芽有機、胚芽燐酸
- 輸入肥料：貴陽696・888、硝酸化成555
- 有機ペレット：ペレボンF、胚芽ミックス
- 有機配合肥料：カンベキ864

株式会社 倉商

大阪市西区京町堀 1-3-22

電話 06-6444-0289・FAX 06-6444-0911

坊主の独り言

高付加価値とは何か

ジャストイン・タイムの理念
自動車生産に限らず、よく観察すると設計工程も一般の作業工程でも同じことがわかる

一般に部品(製品)が生産計画で生産工程に指示され、次々と前工程から後行程へ仕掛品送られて行く。これの欠点は前工程で何かトラブルが発生した場合、後工程では必ず欠品が生じたり、あるいは全く作業が進まなかったり好むと好まざるとの関わらずラインストップが工事の進行がストップし、生産計画の変更を追い込まれる。逆に前工程のトラブルを無視して各工程に特別の指示をしない限り、欠品がありながら必要不急部品が生産され在庫の山が出来たり、後で手直しを必要とする工事をしたり大変貴重な人件費の浪費となり生産効率も企業効率も悪化し、結果的に商品の品筆不良を招き、顧客の信頼を無くし経営収め低下を招くことになる

トヨタのジャストイン・タイムの条件を満たすことにならない。そこで、カンバン方式生みの親、大野耐一氏が考えたのが、必要時に、必要量だけ供給するここに逆転の発想が生まれたのです。

大野耐一氏がたどり着いた発想とは生産の流れは物の移動であり、人間の移動でもあります。すなわち、従来の前工程から後行程に部品を送り込む方式から、「後工程から前工程に必要な部品を必要な時に、必要な量だけ取りに行く」という、流れを逆にするやり方

思い当たったのです。このやり方では前工程が引き取られた分だけつくればよいことになり、沢山の行程をつなぐ手段として何をどれだけ欲しいのかを表示するカンバンを各工程、工場、職場に回すことが解決出来るのではと、発想されたのです。

ここに、今やトヨタに留まらず、世界の生産会社、医療機関の経営や金融機関にまで生かされている生産方式であります。

この方式の発想の原点は、何とスーパーマーケットであつたと聞く。

カンバン方式は流れをコントロールする大切さを教えてくれるのです。多分、世界の政治手法にも取り入れられねばならないと考える

喜るこへば 喜びびが
喜こんで 喜びびを集めて
喜んでくる

短歌

谷澤規佐子 作

車窓より入り
来る香樂しみつ
うす紀色の
梅林を行く
(那賀町梅林)

春立ちて
そこはかとなく
暖かし
咲きし紅梅
庵を飾る
(城内の茶庵)



境内の梅花

企業内の工程の合理化や生産システムの

改善にお役に立たせて頂きます!

株式会社 データシックス

代表取締役 石田 喜彦

工業用ロボットシステムソフトウェア開発受託

研究所向画像処理システムソフトウェア開発受託

パソコンの通信ポート応用機器の開発、販売

本店 〒651-1301 神戸市北区藤原台北町 2 - 14 - 5

TEL 078-981-1291 URL ; <http://www.jbi.co.jp/data6/>

FAX 078-981-8091 E-Mail data6@po.happy.ne.jp

編集後記

人生相談に鬱病・登校拒否から会社への出勤拒否、中には先生の出勤拒否の多いことに驚く。

中学二年生からの相談、「両親に感謝しよう」と教えられてきたが、よく考えると私は自分の意志で生まれたのでない。「悩んで非常に苦しんでいる今」私の意志に関係なく私を生んだ。それで、苦しんでいる私が何故、両親に感謝しなければならぬのだらう? という相談。

それでも、家族共に汗を流す家庭には明るさがある。小さいときは母親と大きくなって家族で。原因には親の「エモ」!